

辻市政 3期目 スタート

市発足後3期目となる丹波市長選挙は、平成24年11月18日（日）投票の結果、辻重五郎市長が再選を果たしました。
任期は、平成28年12月4日までの4年間です。

若者に魅力ある「誇りのもてる住んでよかった丹波市」をめざします

このたび、市民のみなさま方の温かいご支援とご支持をいただき、三度市政をお預かりすることになりました。誠に光栄に存じますとともに、改めてその責任の重大さを痛感し、市民のみなさまの期待にお応えしなければという強い使命感で身の引き締まる思いであります。

3期目の丹波市長として、2期8年間の実績を礎に、これまで取り組んできた施策の総仕上げを行い、若者に魅力ある「誇りのもてる住んでよかった丹波市」をめざして更に飛躍したいと考えております。

1. 「安心して暮らせるまち」

先行きの不透明感が増す現在、子育て、医療、介護、災害などにおいて、市民の不安を取り除くこと、そして、「安心」を確立することは、市民の最大の願いであると認識しています。

地域医療の充実や子育て支援、高齢者世

辻 重五郎 丹波市長

1939年生まれ。丹波市氷上町中。元中学校教諭。元兵庫県教育委員会義務教育課長。元氷上郡教育委員会教育長。平成16年、初代丹波市長に就任し3期目。無所属。好きな言葉は「人生二度なし」。

帯への配慮、生涯にわたる健康づくり、防災・減災対策を拡充し、安心で健康に暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

2. 「元気で活力のあるまち」

円高、グローバル化が進むなか、低迷が続いている日本経済にあつて、丹波市にも閉塞感が漂っていると言われていいます。そのため、市の元気・活力を引き出すためのさまざまな対策を講じる必要があります。元気アッププロジェクトとして、新たなイベントの創造を行います。

また、丹波市ブランドの積極的なPRや栗園の大規模化、農業の6次産業化の推進「鹿」をキーワードに解体処理から販売・活用までの一貫したモデル事業の実施、間伐

材を利用したチップ工場の建設・活用、情報関連産業や農業等への企業の新規参入の促進などにより、農林業の振興をはじめ、若者定住のための職場確保にも努めてまいります。

観光振興では、ブランドイメージが強い「食」と豊富な「地域資源」を組み合わせたエコツーリズムや観光ツーリズムを推進してまいります。

3. 「歴史・文化・芸術が息吹くまち」

丹波市には、私たちの先人たちによって培われてきた独自の文化や歴史遺産が数多くあります。これらの貴重な歴史・文化遺産を継承・発展させ、誇りや愛着を育む地域づくりを推進するとともに、趣味や教養に関する学びの生涯学習から得た知識や経験を地域社会の中で生かし、市民の身近な課題に自らが取り組む「知識循環型生涯学習」の充実を図ります。

また、「確かな学力、豊かな心、健やかな体」を育む教育環境の充実を図り、次世代を担う人材育成に積極的に取り組んでまいります。

4. 「環境にやさしいまち」

新たなごみ処理施設の整備については、平成27年度の稼働をめざしているところで

5. 「信頼される行政」

職員の不祥事などを真摯に受け止め、組織・職員の力が最大限に発揮できるように、政策形成能力、法制能力を強化するとともに、不易流行の視点で職員の発想力を最大限に引き出すための職場環境づくりに力を入れていきます。また、市民目線での行政サービスの向上や行政情報の公開など、市民から信頼される行政の展開に努めます。

行財政改革についても引き続き推進し、多様な市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる行財政構造を構築します。

このように、市政の基盤づくりの総仕上げとして、全力を注ぐ覚悟でございます。市民みなさまの格別のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



職員訓示のようす。氷上住民センターにて(上)所信表明で3期目への決意を述べる辻市長(下)



市議会新体制

就任ごあいさつ

市民が参加する開かれた議会を

丹波市議会議長 奥村 正行



1951 年生まれ。丹波市氷上町石生。
平成 16 年丹波市市議会議員に当選し、3 期目。無所属。

このたび、議員各位のご
推挙によりまして、丹波市
議会議長の職に就任いたし
ました。その任務の重さを
痛感いたしております。

さて、丹波市におきまし
ては、「平成27年度からはじ
まる普通交付税の通減への
対応」や「県立柏原病院と
柏原赤十字病院の再編など
地域医療の在り方」、「認定
こども園や小中学校の統廃
合」など、さまざまな課題
が山積しております。

市議会はどうした課題に
対して、二元代表制の一翼
を担う重大な責務のもと、
地方公共団体の事務執行の

監視機能及び政策立案機
能を十分発揮することによ
り、市民のみなさまの期待
に応えていく所存でありま
す。また、市民への積極的
な情報公開を通じ、情報の
提供及び情報の共有化を図
ることにより、公正性と透
明性の確保に努め、市民の
市政への参加を求めるな
ど、『開かれた議会づくり』
を推進してまいります。

市民みなさまのなお一層
のご支援とご鞭撻を心より
お願い申し上げます。

市議会議員のみなさん

市議会議員 20 人が選出されました

丹波市の 3 期目となる市議会議員選挙が 11 月 18 日（日）に
行われ、即日開票の結果、20 人の市議会議員が選出されました。
任期：平成 24 年 12 月 5 日～平成 28 年 12 月 4 日

掲載内容：議員氏名（敬称略）・年齢（12 月 20 日現在）・党派・当選回数・
住所 * 議席順

坂谷高義 (66) 無所属 ② 市島町市島	岸田 昇 (65) 無所属 ③ 氷上町中野	木戸せつみ (65) 無所属 ③ 山南町和田	土田信憲 (64) 無所属 ① 市島町下竹田	山本忠利 (70) 無所属 ③ 春日町柏野	太田喜一郎 (60) 無所属 ③ 氷上町西中
太田一誠 (51) 無所属 ① 青垣町小倉	足立克己 (61) 無所属 ① 青垣町沢野	西本嘉宏 (65) 日本共産党 ③ 春日町東中	西脇秀隆 (62) 日本共産党 ① 山南町和田	藤原 悟 (61) 公明党 ② 山南町谷川	田坂幸恵 (63) 公明党 ③ 柏原町柏原
平井孝彦 (59) 無所属 ② 氷上町西中	前川豊市 (66) 無所属 ③ 柏原町柏原	横田 親 (30) 無所属 ① 氷上町新郷	林 時彦 (58) 無所属 ② 春日町野上野	荻野拓司 (59) 無所属 ③ 市島町北奥	奥村正行 (61) 無所属 ③ 氷上町石生

* 議長と副議長

議長は、議会を代表し、議場の秩序の保持や議事の整理などいろいろな権限が与えられています。

副議長は、議長が事故または欠けた場合に議長に代わって職務を行うなど、議長を補佐します。

* 委員会

委員会は、本会議に提案された議案などを専門的に詳しく審査するために、少数の議員で構成される機関です。委員会には、常時設置されている「常任委員会」（総務常任委員会、民生常任委員会、産業建設常任委員会）と「議会運営委員会」、必要ときに設置する「特別委員会」があります。

議会の構成					
議 長			奥村 正行		
副議長			田坂 幸恵		
総務常任委員会			民生常任委員会		
委員長	荻野拓司		委員長	前川豊市	
副委員長	土田信憲		副委員長	西脇秀隆	
委 員	岸田 昇	太田一誠	委 員	白井八洲郎	坂谷高義
	西本嘉宏	田坂幸恵		山本忠利	太田喜一郎
	平井孝彦			奥村正行	
産業建設常任委員会			議会運営委員会		
委員長	藤原 悟		委員長	西本嘉宏	
副委員長	林 時彦		副委員長	太田喜一郎	
委 員	垣内廣明	木戸せつみ	委 員	岸田 昇	山本忠利
	足立克己	横田 親		藤原 悟	前川豊市
				荻野拓司	